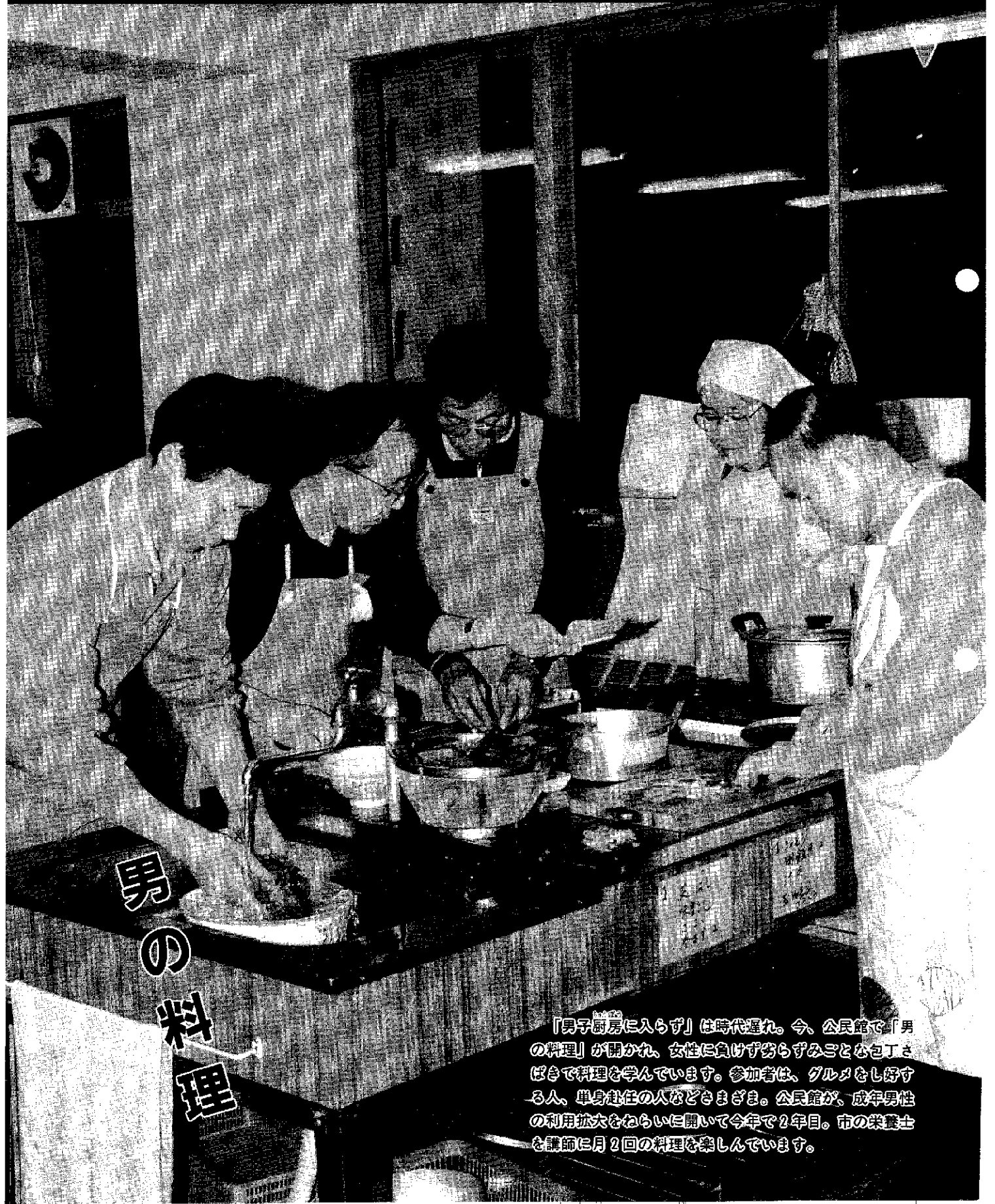


発行／十日町市役所 〒948 新潟県十日町市千歳町3丁目3番地 電話 0257-57-3111  
編集／総務課文書広報係(毎月10日発行)

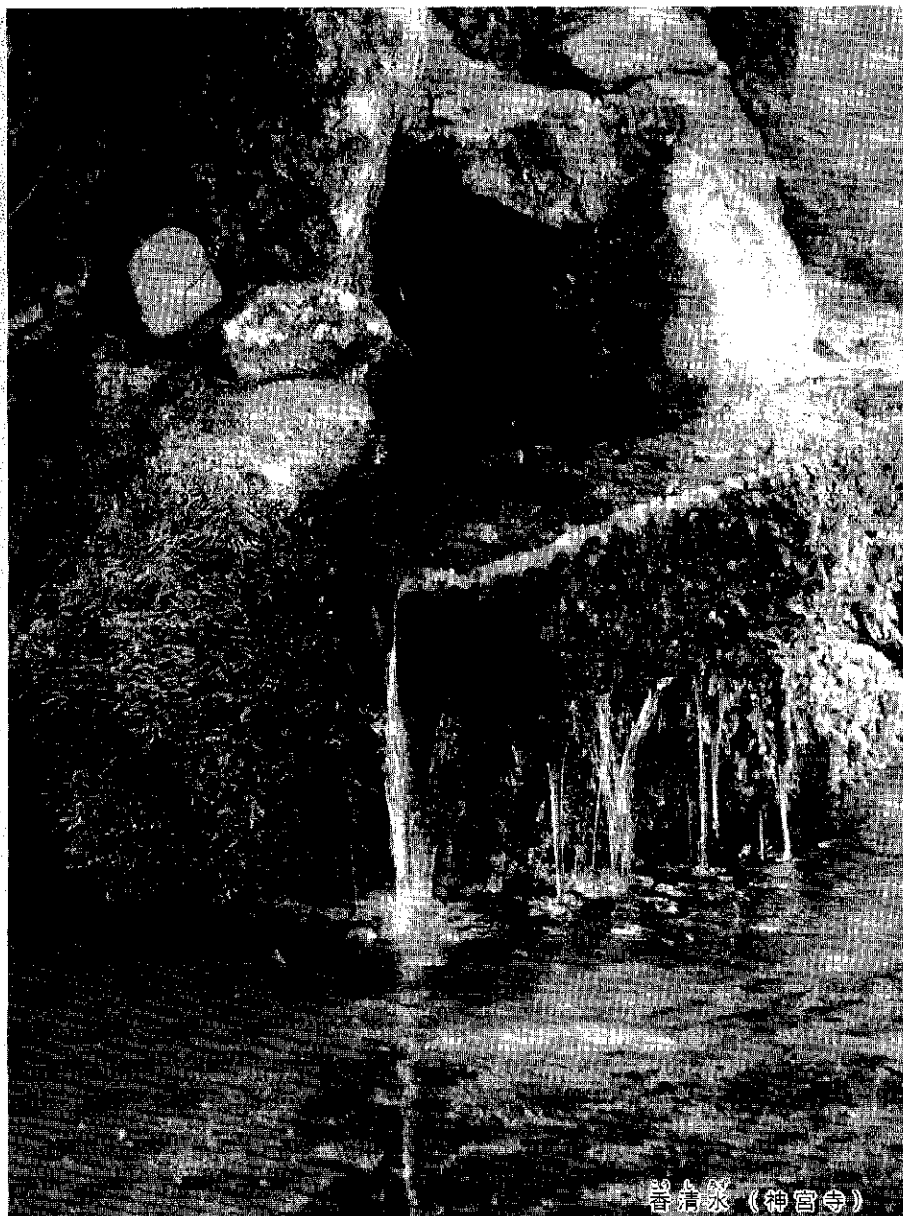
■十日町市の面積212.77km<sup>2</sup> ■人口(10月末日現在)46,382人(前月比+24)男22,815人(+10)女23,567人(+14) ■世帯数12,574(+11)



## 男の料理

「男子<sup>厨房</sup>に入らず」は時代遅れ。今、公民館で「男の料理」が開かれ、女性に負けず劣らずみごとな包丁さばきで料理を学んでいます。参加者は、グルメを愛好する人、単身赴任の人などさまざま。公民館が、成年男性の利用拡大をねらいに開いて今年で2年目。市の栄養士を講師に月2回の料理を楽しんでいます。

# 水……は生命の源



善清水 (神宮寺)

……考えましよう

水の大切さ！

ふだんなにげなく使っている水。わたしたちは、毎日の生活の中で空気と同じように、水の大切さを忘れがちです。水は、人間はもとより地球上のあらゆる生物にとって、欠かせないものです。そして、毎日の暮らしや農業・工業などの産業を支える重要な資源であり、発電や舟運・観光など、いろいろな面で深いかかわりをもっています。しかし、この大切な水も枯渇して豊富ではなく、いまや限りある貴重な資源となっています。これからの季節、水は、雪国十日町の市民にとって欠くことのできないエネルギーとなり、消雪パイプや流雪溝など、消雪用水として多量の水が使われます。十日町市の生活用水は地下水に頼っています。厳冬期は湧水期であり、大切に水を使わなければなりません。降雪を目前にひかえ、あらためて水の大切さを考え、いつまでも水を豊かな暮らしに役立たせるよう心がける機会にいたしましょう。



## 「弘法清水」で 一年中洗い物

山口キノさん（馬場4）

ありがたい水です。水がいっぱい出できれいなおかげで、洗濯は野菜洗いに1年中使わせてもらっています。これから漬け菜洗いの時期になると、かあちゃん衆がいっぱい集まって来ます。お茶がないばっか世間話をする場所にもなりません。

洗い物のほかにもこの水は、田や学校のプールにも使っていらんで大事な水なんです。40年ほど前は湯気が出たほど温かく、冬の洗い物も苦濯にならなかつたです。この水で洗濯をすると真っ白になって、水道の水と比べられないほど白くならんです。こんなりっぱな水を大事に使っていかねばと思っています。



◀ 満々と水をたたえていた信濃川  
冬の渡し（昭和25年）



▶ 現在の信濃川

## 水が育んできた 雪と織物と 信濃川

昔から十日町の生活や文化・産業は、雪と織物と信濃川によって育まれてきました。雪は天然の貯水タンクであり、水資源として大切な役割を担ってきました。水は十日町市の発展の基礎をつくったともいえます。

水を語るときに欠くことができないのが信濃川です。雪が解けて小川となり、やがて日本一の信濃川となって日本海に注ぎます。母なる川、信濃川は、縄文の時代から妻有地方に大きな恵みをもたらしてきました。その台地についた縄文人は、火焔型土器という日本一の文化を生み出しました。そして、豊富な水（雪）

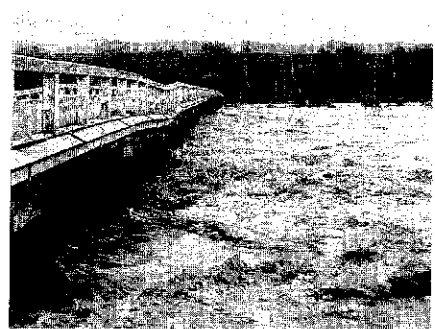
によって、千五百年の歴史を誇る織物産業を育ててきました。また、肥よくな土壌と清らかな水により、農業を発展させました。

かつての信濃川は、陸上の輸送が発達するまで米など生活物資を運ぶ荷舟や筏が通り、対岸に人や馬を運ぶ渡し舟もありました。そして、サケ・マスなどもたくさん取れ、人々の大事なタンパク源ともなっていました。また、信濃川は子供たちの遊びの場であり、避暑地であり、水泳の練習場・魚取りの場を提供してきました。

しかし、信濃川も都会への電力供給のため水力発電所が建設され、水量が大きく減少し、その姿を変えてしまいました。信濃川も時代と共に大きく変化してきました。

## 治山・治水で 水害を防ぎ 水源を守る

日ごろは情緒豊かな信濃川も、春の雪解け水のころや秋の台風シーズンになると、狂った龍のように暴れまわりました。出畑や人家、橋を流し、人々を苦しめました。古くから繰り返されて



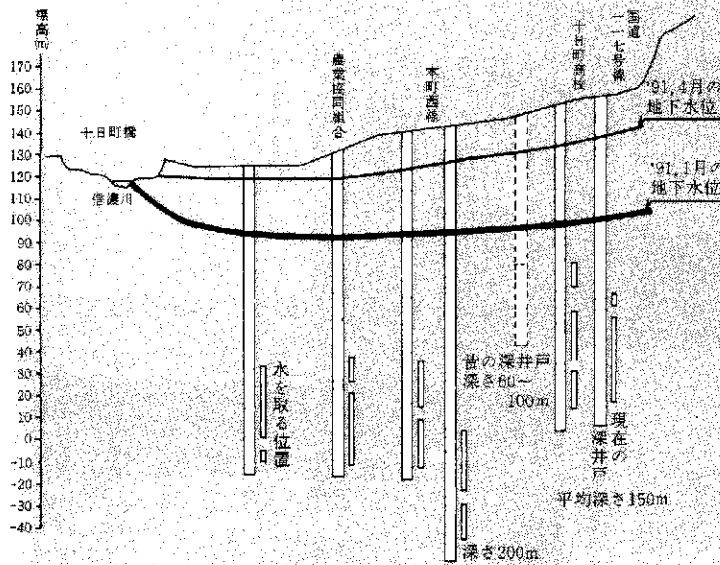
決壊寸前の十日町橋（昭和10年）

てきた悲惨な水害を防ぐために、戦後、信濃川流域に堤防を建設し治水に力を入れてきました。また、支流や上流にも砂防ダムなどを建設して出水を防ぎ、山や森林を守ってきました。森林は、水源を守るため幾世代にもわたり、多くの人々が守り育ててきました。洪水を防ぎ大切な水を蓄える、森林のもつ水源かん養機能は極めて重要なものです。今もなお自然を守り、水を守るために積極的に植林などの森林保護が行われています。水を守ることで忘れてならないことは、水を汚さないことです。河川の汚れで一番大きな要因は生活雑排水だともいわれています。汚れを防ぎ、下流域の人達にきれいな水を送るため、今、積極的に下水道が整備されています。



## 地下水位と深井戸の状況

(信濃川から市街地までの断面図)



消雪パイプ流雪溝は雪国の生活に  
欠かせません



消雪パイプの普及により、消雪用の深井戸は昔と今では約2-3倍の深さとなっています。また、地下水位は4月と1月では約30m以上も水位が下がります。

## 厳冬期は湯水期 冬こそ水の リサイクル

雪国十日町に冬が訪れ、雨が雪に変わります。雪の処理には、水がたいへん有効で大きなエネルギーを発揮します。しかし、厳冬期は湯水期でもあり、わたしたちは冬こそ水のリサイクルと節水を真剣に考え、実行しなければなりません。

雪処理対策としての克雪用水には、大小河川水・深層地下水・浅層地下水・下水処理水・家庭雑排水などがあげられます。

## 河川水は 流雪溝用水に

流雪溝は、屋根の雪や道路の雪を処理するために大きな力を発揮します。雪に強いまちづくりを目指して現在、市街地を中心に流雪溝整備と信濃川からの取水送水施設の建設が進められています。

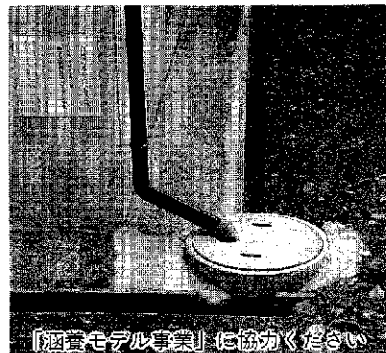
市街地の用水は現在、田川や晒川の水を利用していますが、もうすぐ信濃川から毎秒一・八二七リットルという多量の水が流れます。また、晒川ダムを建設する

ための調査も進められています。その他の地域でも、農業用水や用水路を利用した流雪処理が行われ、多量の水が有効に利用されています。

## 地下水は 消雪パイプ用水に

厳冬期の降雪時、道路の消雪パイプ用水は、国・県道百十本、市道八十六本の深井戸から一斉にくみ上げられます。これに個人や事業所の三百本以上の深井戸が加わり、深層地下水だけでも一日の使用水量は五万リットルを越えています。春になって、消雪パイプを使わなくなれば、見かけ上、水位は回復しますが、地中の潜在地下水資源量は確実に減少しています。そして、地盤沈下の可能性も心配されます。

そこで市では、平成元年度か



ら市街地とその周辺で、宅地に降る雨を地下に返そうという「地下水涵養モデル事業」を始めました。小規模ではありますが地下水の保全に努めていますので、市民の皆さんからも協力いただきたいと思ひます。

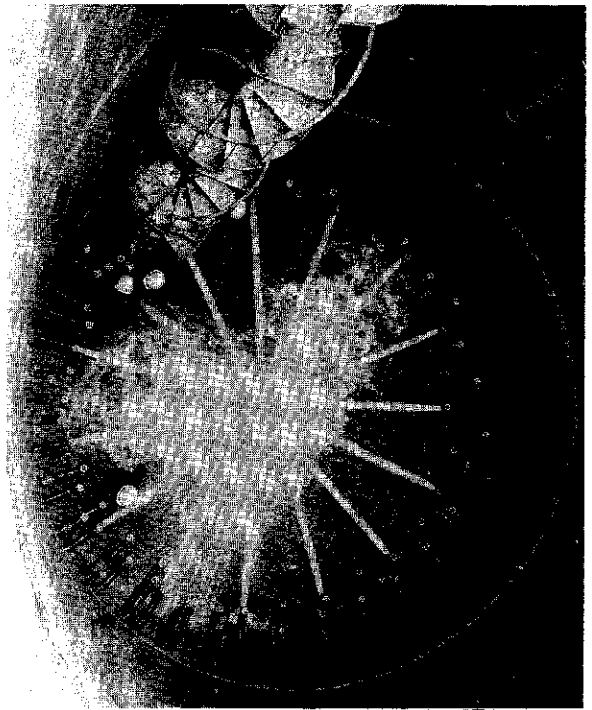
また、限りある地下水を大切に保全し、有効に使うことをねらいとして昭和五十七年から「地下水適正化条例」を設け、市街地を中心とした地域の規制や届け出をお願いしています。

## 下水処理水の 再利用で融消雪

下水処理センターは、昭和六十年から市街地の運搬排雪場として利用されています。空き地に雪をたい積させたり、大型の融消雪溝を作って、一日五千リットルの下水処理水を使って、大型ダンプ百台分の融消雪を行い、除雪経費の節減と下水処理水の有効利用を進めています。

また、豪雪地帯水土保全機能強化モデル事業として、池沢に雪ダムを造成する計画も進んでいます。

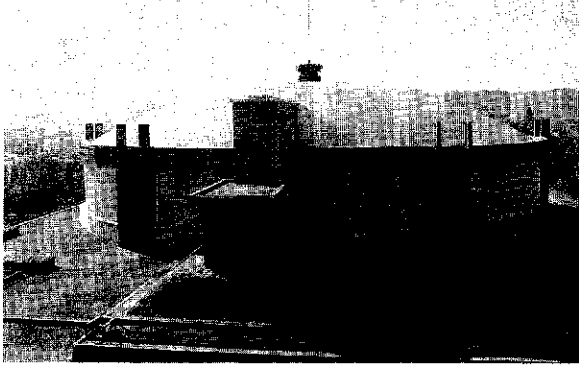
このように、限りある水を有効に使い、延命化を図るための事業が行われています。



第1水源立形集水井戸（満州井戸）昭和54年8月



▶上水道浄配水場の制御室



◀五軒新田にある配水池

### 毎日の生活に 欠かせない 飲料水

蛇口をひねれば水が出る。水  
を考えると、いちばん身近か  
で毎日の暮らしに欠かせないも  
のが「飲料水」です。この飲料  
水にも「上水道」「簡易水道」「井  
戸水」などさまざまな種類があ  
ります。

十日町市の水道は、その水源  
のほとんどを地下水にたよって  
います。ここで、市内で一番多  
く使われている上水道について  
簡単に紹介します。

### 上水道のしくみは

十日町市の上水道はすべて井  
戸水（地下水）です。水源井戸  
は羽根川と田川の間、信濃川沿  
いに浅井戸四本、深井戸九本と  
全部で十三本あります。その井  
戸水を毎日違う組み合わせでポ  
ンプによりくみ上げ、浄配水場  
で鉄分などを取り除き浄化消毒  
されて、きれいな「水」となっ  
て配水池に揚げられます。（一部  
の井戸水は直接消毒され揚げら  
れます）

配水池は、第一が城ヶ丘、第

二が川治の山の上、そして、第  
三は五軒新田の山の上の三方所  
に一部ためて、そこから高低差  
を利用して各家庭に送られます。  
給水する範囲は、羽根川から  
飛渡川までです。

### ドラム缶で二、六〇〇万本

十日町市で一年で使われる上  
水道の水の量は、約三九〇万立  
方メートルです。これをドラム缶に入  
れると千六百万本にもなります。  
これを建物に換算すると総合体  
育館の約六十九倍に相当します。

一世帯で一日に使う量は、約  
一立方メートルです。これを二十リッ  
トルの容器に入れると五十個に  
もなるほど、たくさん水が使  
われています。特に多く使われ  
る月は、真夏の八月はもちろん  
ですが、一月、二月の厳冬期に  
も多く使われていますので、大  
切に水を使っていたきたいと思  
います。

また、水道水は地下を縦横に  
走る水道管を通って送られます。  
この水道管をつなぎ合わせて直  
線にすると、一〇四キロメートル  
なり、十日町から新潟市までの  
距離とだいたい同じになります。

### 次代に残そう かけがえのない 大切な水

このように地下水・流雪溝用  
水・飲料水と冬場を迎え、多く  
の水を使う季節となります。そ  
して、地下水に頼る十日町の冬  
は水を最も大切にしなければな  
りません。毎日の生活の中で、  
空気と同じように水の大切さを  
忘れがちですが、「もし水が出な  
くなったら」と思うとぞっとし  
ます。都会とちがい水資源の豊  
富な地域に住むわたしたちは、  
水は自然から受ける当然の恩恵  
と考えがちです。

これからは「水をどのように  
工夫して大切に使うか」  
が新しい文明の尺度となる時代  
です。二十一世紀へ向かうわた  
したちは、節水型社会を目指し  
つつ、水のもつ多くの機能を十  
分に生かすことによって、生活  
をより豊かなものにする事が  
できるのです。

水を伸立ちとして、地域の環  
境を考え、水のある豊かな暮ら  
しを次の世代へ残して行かな  
ければなりません。この機会にみ  
なさんも水についてご家族で話  
し合ってはいかがでしょうか。

# 努力が実った、喜びの叙勲・表彰

十一月三日（文化の日）に秋の叙勲が発表されたのをはじめ、それぞれの分野で活躍された方の表彰が行われました。十日町市からは次の八人の方が喜びの栄誉に輝きました。おめでとうございます。



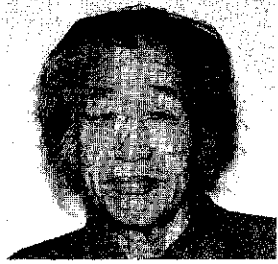
小宮山達男さん  
(慶地・78歳)

小宮山さんの受章は、県議、市議、村議と、通算二十四年におよぶ議員や、その他公職にあつて、地方自治発展のため努力してきたその功績が認められたものです。十一月七日（休日）で伝達を受け、感激もひとしおの表情で「これも長年私を支えてくれた方々のおかげ」と感謝の言葉が絶えません。小宮山さんが「恵まれない地域を何とかしたい」と、発起して下条村議に当選したのは昭和二十二年。二十六年には、中魚沼選挙区の県議にも当選。そして、昭和五

十年からは、四期十六年にわたつて市議会議員として地域に貢献、副議長を務めるなど、議会の中心的立場で活躍してきました。「市の誕生と、それにかかわる町村合併が一番の思い出。選挙運動でやみ討ちにあつたことも」と語る思い出の数々は、そのまま十日町市の戦後を議員の目で追いつけた、貴重な記録の持ち主です。一貫して「へき地振興」に努力してきた小宮山さん、議員引退後の現在、多少の足の衰えはあつても、情熱は衰えを知りません。

## 秋の叙勲

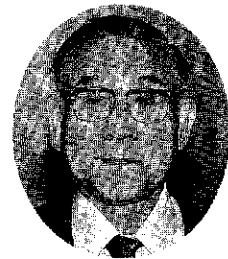
村山 晋さん  
(本町6-2・73歳)



村山さんは、広告美術技能功労で叙勲の栄誉に輝き、十一月八日（休日）で受章され、引き続き皇居において天皇・皇后両陛下に拝謁される名譽を得ました。「業界の皆さんのおかげなんです。これ以上のものはいただけないんで、最高の喜びです」と笑顔で喜びを話してくれました。村山さんは、中学を卒業し画家を志して上京しましたが断念、上野美術館で出会った看板業を営む松華堂に弟子入りをして修業を重ねて、今日の基礎を築き上げまし

た。昭和二十三年に十日町で初の看板業を始め、以来四十二年間広告美術一筋に精励してきました。この間、後進の指導にあたり二十人を超える門弟を養成。雪まつりステージ製作にも長くたずさわり、昭和五十六年の雪像はギネスに紹介されました。また、織物組合求評会会場のデコレーション造型に卓越した技術を発揮。そして、業界の発展にも貢献してきました。温和な風情で、後進の良き相談相手にあたり、今もなお仕事に情熱を燃やし続ける村山さんです。

## 公平委員で自治大臣表彰

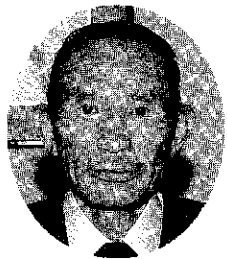


村山 力さん  
(北新田1・75歳)

村山さんは、公平委員として長年にわたり公正な人事行政に尽力され、十月三十日（休日）九段会館で開かれた公平委員会制度四十周年記念式で自治大臣表彰を受賞しました。十一月二日には皇居豊明殿において天皇・皇后両陛下に拝謁される名譽に輝きました。

「年数勤めただけなんです。何もしていないのに表彰され、申し訳ない気持ちでいっぱい。みんなの代表として受賞できました」と謙虚に喜びを話す村山さん。昭和五十年二月に下手小学校校長を最後に退職され、五十一年六月から今日まで十五年四月月にわたり、温厚な人柄と信望の厚さで業務に精励されました。「地味な仕事ですが、何かあれば大変、何もないのが一番」と話す村山さんは、公平委員会委員長としてリーダーシップを取りながら研さんを重ねています。

## 工業統計調査で通産大臣表彰

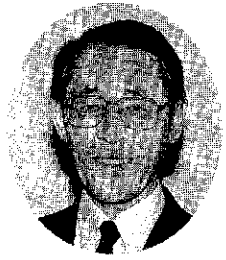


保坂 久一さん  
(南鑑坂・63歳)

保坂さんが調査した工業統計調査は実に三十回、三十年に及びます。その功績に対し、十一月一日（休日）通産大臣表彰が伝達されました。一地域の一員として当然のことをしていただけ。こんな表彰を受けるなんて」と話す保坂さんが、地域の推せんを受けて調査員にな

つたのが昭和二十五年です。「工業統計調査は、毎年暮れから正月にかけてやるもの。昔は弁当を腰に下げて、やぶをこぎながら何日も調査に歩いた」と、稼業そっちのけで吉田全域を回った思い出が懐かしい様子。「それに比べ、今は調査区も分担され、道もよくなり、電話もある。反面、調査項目が増えたり、プライバシーの問題があって、別の面で大変」と苦労話もチラリ。一調査員は信頼されることが一番大事」と力説する保坂さん。今冬三十一回目の調査に臨みます。

# 社会福祉功勞で県知事褒賞



松井愛美さん  
(本町西1・61歳)

松井さんは、十一月三日(旧)県庁で、幼児教育などの分野での顕著な功績が認められ、社会福祉功勞で知事褒賞を受章しました。

「当たり前のことをやっていただけで、特別なことは」と、いかにも牧師さんらしく謙虚な表情をくすさない松井さんが、十日町幼

児園の園長に就任したのは昭和三十年。以米三十六年間、幼児保育に心血を注いだ父母の志を継いで、一貫して「子供らしく、楽しく遊べる保育」を目指し、県私立保育連盟理事なども歴任してきました。

一方では、原水爆禁止運動の先頭に立つ平和運動家、また文化人としても活躍しています。

「敗戦の荒廃の中に立って、日本の再建には、心の豊かさ、新しい精神文化の創造が必要なることを痛感した」と、幅広い活動の原点を語る松井さん。その目は常に五十年後を見えています。

# 染色技能で県知事表彰



樋熊貞利さん  
(新座4-1・83歳)

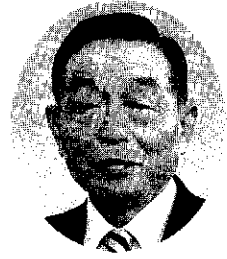
樋熊さんは、卓越した染色技能者として、長年にわたり織物業界に貢献され、十一月五日(旧)県庁で県知事表彰を受けました。

「人に負けない職人稼業に徹しよう」と、六十六年間染色一筋で頑張ってきました」と喜びを話す樋熊さん。大正十四年に上京、八王

子で十九年間染色技術の習得に励んでこられ、二回の兵役に服し、昭和二十四年伊丹屋染工を設立しました。また、昭和十八年に織組加工部の前身、糸染有限会社の創設や三十三年の染色組合設立など織物業界にも大きく貢献し、十日町の染色技術の基礎を作ってきました。今年の三月には、伝統的工芸品産業振興会長から功勞者表彰を受けられるなど、これまでに数多くの表彰を受けてこられました。

樋熊さんは、今でも会社の相談相手として自動車通勤する、元気な毎日を送っています。

# 林業功勞で県知事表彰



齋木実さん  
(落之水・60歳)

齋木さんは、低迷を続けている林業の振興と発展のため、長年にわたって尽力した功績が認められ、十一月一日(旧)弥彦神社で開かれた県森林まつりで、林業功勞者として県知事表彰を受賞しました。

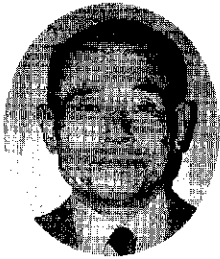
「この表彰は、わたし個人がいただいたのではなく、森林組

合をはじめ、林業経営者すべてに対する激励として、みんなでいただいたものだと思っています」と感想を語ってくれました。

現在の林業は、安い輸入材の影響で厳しい環境の下にあります。「森林は、国土保全のためには無くてはならないもの」と、保育管理に力を入れ、当地方に合った造林に取り組んでいます。

現在、県林業研究会連絡協議会長として、各種大会にも参加し、新しい林業経営、地域林業振興を旨とし、後進の指導にあたっています。

# 新潟地方裁判所長表彰

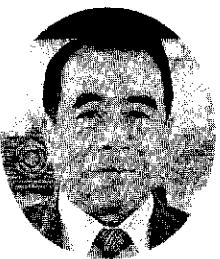


羽鳥松雄さん  
(田中町西・68歳)

「一人様のお手伝いはわたしの柄ではありませんが、自分の行政経験が役に立

てれば有り難いです」と語る羽鳥さんは、県職員を退職して調停委員に就任し、このたび新潟地方裁判所長表彰を受けました。

調停では、双方の当事者の話をよく聞くことを心がけ、公正な調停を行うために研修会や新聞などを通して常に知識の習得に努めています。そして、「何かのトラブルが起きてしまった時は、解決が早く、秘密が守られ、経費も安い調停制度をまず利用していただきたい」と、調停制度の重要性を訴えています。



根津清治さん  
(本町6-2・67歳)

根津さんは市役所を退職した後十年間調停委員を務め、新潟地方裁判所長表彰を受けました。

根津さんは、ほかにも民生児童委員や人権擁護委員などの市民生活に密着する仕事を続けています。「市役所の最後に福祉の仕事をし、恵まれない人達のことを目の当たりに見て、退職後は少しでもお役に立てればと、いろいろな仕事を引き受けてしまいました」と、多忙さを笑いとばします。

「調停は双方が譲り合うことが大切、そのためには粘り強く説得することを心がける」と調停に対する心構えを話してくれました。



女王には久保田裕子さん(小千谷市)が

# 県きもの女王コンテスト

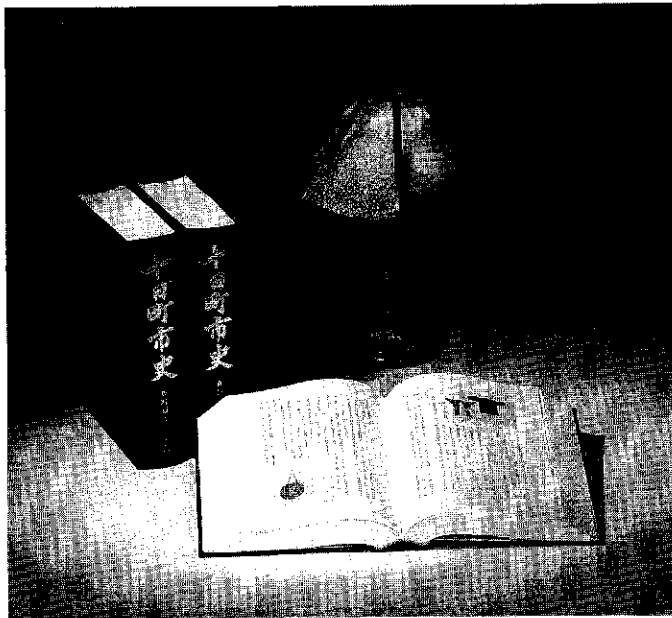
十月二十七日(旧)、新潟県きもの女王コンテストが市民会館で行われ、県内各地から集まった五十二人が女王の座を競いました。十日町市からは上村牧世さん(美雪町三・21歳)が特別賞の十日町商工会議所会頭賞に輝きました。

# の刊行が始まります

「近世I」の3巻を3月に刊行します

## 二十一世紀への最大の贈り物に

市では「十日町市の歴史的發展過程を明らかにし、市民の郷土に対する関心を高めるとともに、貴重な資料を後世に伝え、あわせて教育・文化の向上に寄与する」ことを目的に、昭和六十一年度から市史編さん事業を進めてきました。この間、市民各位のご協力を得て、可能な限りの資料調査を行ってきました。そして、今年度末には資料編八巻のうち三巻を刊行する運びとなりました。この機会に子々孫々に郷土の歩みを伝える「十日町市史」をぜひお求めください。



## 自然

★A五割約六百ページ  
★全ページカラー印刷

### 内容構成

第一章 十日町の大地	第一節 大地の姿	第二章 大地の生い立ち	第一節 気候と気象	第一節 古気候	第二節 気候のあらまし	第三章 春の気象	第四節 夏の気象	第五節 秋の気象	第六節 冬の気象	第三章 ゆたかな緑	第一節 暮らしと植物	第二節 大切な緑	第三節 植物相の特徴	第四節 十日町に見られる植物(目録)	第四章 シダ植物の分布	第一節 分布のあらまし	第二節 おもしろい雑種	第三節 分布上注意した	第四節 十日町のシダ植物(目録)					
第五章 キノコ類の多様性	第一節 キノコの文化史	第二節 当間山のキノコ	第三節 雪とキノコ	第四節 キノコいろいろ	第五節 十日町のキノコ類(目録)	第六章 哺乳類の仲間	第一節 哺乳類の生活	第二節 大形哺乳類の移り変わり	第三節 十日町にすむ哺乳類(目録)	第七章 野鳥のすみかた	第一節 人と鳥	第二節 里の鳥	第三節 池や沼の鳥	第四節 川の鳥	第五節 山の鳥	第六節 増えた鳥・減った鳥	第七節 鳥類の組合わせ	第八節 十日町に見られる野鳥(目録)	第八章 魚類とすみ場所	第一節 信濃川と池沼	第二節 川と池の魚たち	第三節 信濃川の漁業	第四節 十日町の魚類(目録)	
第九章 蛙とサンショウウオ	第一節 蛙類の生態	第二節 サンショウウオ類の生態	第三節 当間山の両生類	第四節 十日町にすむ両生類(目録)	第十章 蛇とカナヘビ	第一節 蛇類の生態	第二節 カナヘビ類の生態	第十一章 十日町の爬虫類(目録)	第十二章 カタツムリと淡水貝	第一節 陸にすむカタツムリ類	第二節 川や池にすむ貝類	第十三節 十日町に見られる貝類(目録)	第十二章 昆虫の社会	第一節 昆虫の仲間	第二節 里の昆虫	第三節 山の昆虫	第四節 池や川辺の昆虫	第五節 雪と昆虫	第六節 注目される分布	第七節 いろいろの害虫	第八節 十日町のチョウとトンボ(目録)	第十三章 すぐれた自然	第一節 保全したい地域	第二節 珍しい種の保護

### 頒布価格

- 自 然 五、五〇〇円
- 古代 中世 四、〇〇〇円
- 近世 I 四、〇〇〇円

十月に全世帯配布します。たりのフレッツの申し込みはがきを使用し、十一月二十日までに、

### 申し込み方法

切手を貼らずに嘱託員さんにお届けください。②十一月二十一日(木)以降は、切手を貼って直接郵送してください。＊申し込み期限は十一月三

### 配本

平成四年三月に十日町市書籍販売協同組合(市内の書店)を通じて配本します。



# 『十日町市史』 資料編

全 15 卷

本年度は資料編のうち「自然」「古代・中世」

## 年度別刊行計画

●：刊行年度

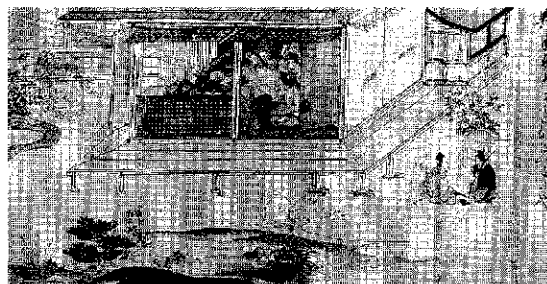
編別	巻別	年度				
		3	4	5	6	7
通史編(5)	自然・原始・古代・中世				●	
	近世 I			●		
	近世 II				●	
	近・現代 I			●		
資料編(8)	近・現代 II					●
	自然	●				
	原始			●		
	古代・中世	●				
	近世 I	●				
	近世 II		●			
別編(2)	近・現代 I		●			
	近・現代 II				●	
織物史	民俗		●			
	市史概説					●

## 古代・中世

★A五判約八百ページ  
★古代・中世史料三百点  
越佐の織物史料二百点を掲載

### 内容構成

- 第一編 古代史料  
飛鳥・奈良時代文献史料
- 第二編 中世史料  
鎌倉時代文献史料  
室町時代文献史料  
中世古記録
- 第三編 織物史料  
奈良・平安時代史料  
鎌倉・室町時代史料



江戸時代初期史料  
近世古記録  
第四編 歴史考古資料

## 近世 I

★A五判約八百ページ  
★支配、町と村、農業の三分野の基本的な史料四百点を収録

### 内容構成

- 第一章 支配  
第一節 支配の変遷  
前期の支配、幕府領の支配、白河・桑名藩の支配、会津藩の預地支配
- 第二章 検地  
第一節 慶長検地、延宝検地  
天和検地、宝暦検地
- 第三節 年貢と諸賦課  
割付と皆済、取立と納入、七品運上



- 第四節 廻米と輸送  
廻米、川下げ、小浜廻米
- 第十章 廻米と大割元関口  
家、山谷組と大肝煎酒
- 井家
- 第三章 農業  
第一節 農業経営  
地主経営、百姓渡世
- 第二節 新田開発と用水  
台地の新田、付洲・中島の新田開発、入会地の新田開発
- 第三節 土地所持と移動  
割地、質権設定と流質地、妻有の質地騒動
- 第四節 山と生活  
境界山論、入会権の設定、山の口明け、山の管理と山番

- 第二節 村のしくみ  
村の成立と村役人、本百姓と名子、本家と分家、村決め、宗門改と五人組、村の諸懸り
- 第三節 十日町組と山谷組  
管理と山番

市史刊行に関するお問い合わせは、  
市史編さん室（博物館内57-5531）へ。  
市外の親戚・知人にも  
ぜひおすすめください。

もうお求めになりましたか……！  
『市史』「PORT」とあかまる「好評発売中」  
◎既刊 第一集、第五集（第一集は残部がわずかと  
なりました）  
◎価格 各集とも一、〇三〇円  
※お求めは市内各書店で。

## 2,500人のサッカーファンが一流プレーに陶醉

～サッカー協会が日本リーグ公式戦を初誘致～



観衆の期待にこたえ華麗なプレーが続出

十月二十七日(日)、日本サッカーリーグ三菱自動車対日産自動車の一部公式戦が陸上競技場で行われ、小雨の降る中、二千五百人のサッカーファンが白熱したゲームに酔いしれました。試合は後半の勝負となり、首位攻防のかかった日産自動車が二対一で逃げきりました。

この大会は地元サッカー協会が、サッカー人口の拡大をねらいに県協会の依頼を受けて初めて開催したものです。

## 長距離王国・十日町市チーム

### 念願のV奪回達成

～第44回県縦断駅伝大会で優勝～



雪辱を果し、優勝を喜ぶ監督・コーチ・選手

十月十九日(土)・二十日(日)の二日間におたり開催された、第四十四回新潟県縦断郡市対抗駅伝競争大会において、十日町市チームは二年ぶり四回日の優勝を飾りました。

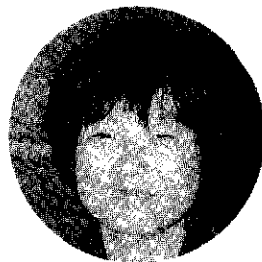
昨年の雪辱に燃え、V奪回を目指す十日町市チームは、エース太田篤宣選手を中心に、全十六区間「過去最高」の精銳を配して今年の大会に臨みました。

その結果、地元一般・高校生、そして急成長した大学生の十三人の選手の方が一つになり、自チームが持つ大会記録を約九分塗り替える新記録で、二位の新潟市を八分も突き離してぶっちぎりの総合優勝を達成することができました。

まさに「長距離王国十日町市」の伝統の底力を県民の皆さんにアピールしたレースでした。

### 児童会

#### ゲートボール大会



尾身さゆりさん  
(6年)

私達の学校には、ゲートボール大会という児童会行事があります。この行事は、名ヶ山小学校の子供達と地域のお年寄りとの交流を深めるために行っています。お年寄りの方々から、ゲームのやり方や打ち方など親切に教えてもらいます。昨年は、お年寄りと子供達で試合をしました。やはり、お年寄りの方々はとても上手でした。私達のチームは負けてしまつて残念でしたが、お年寄りの方々といっしょにゲートボールができてとても楽しかったです。また、ゲートボールが終わった後、さつまいもの料理をいっしょに会食しました。

## わたしたちの 学校自慢

32

### 名ヶ山小学校

〔内山 一雄 校長〕  
児童数：20人

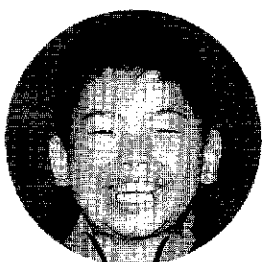


おじいさん、おばあさんには負けないぞ

このさつまいもは、私達が学校農園で育て、料理も自分達でしたものです。今年も楽しいゲートボール大会にしたいと思います。

### 児童会

#### お年寄りといっしょに



あきくに  
小海邦光くん  
(3年)

ぼくたちの学校では、毎年一



老若男女が参加し、大好評な市民登山



関係者らにより除幕される「高志が丘の碑」

# みんないきいき。 サークル交流録 PART 8

## 十日町おだまき山の会

(曾根 勉 会長)

十日町おだまき山の会は、11年前に4人で作った山岳会です。現在の会員は、26歳から64歳までの男女35人が加入し、地域も津南町、塩沢町、小千谷市などからの会員もいて、山好きな人達の広域的な集まりです。

会の名称は、十日町市がきものまちということから、糸玉の「芋環」からとってつけたものです。昨年は会創立10周年で、20以上の山に頂標を設置したり、オリジナルTシャツの作成などの記念事業を実施しました。

会の規約では、「登山を通じて健康を増進し、生活文化を豊かにする」と定めてあり、安く、楽しく、安全にをモットーに活動しています。

会の行事で主なものは、会員登山はもちろんですが、会員以外にも呼びかける市民登山を年2~3回実施し、好評を得ています。ほかにも毎年清掃登山をして山のクリーン化に努めたり、年数回酒を酌み交して会員の親睦を深めています。

体力づくりを兼ねて山を歩き、大自然に親しむことは非常に楽しいことです。会では、山の好きな仲間を募集しています。会に加入したい人は、毎月第1・3火曜日に午後7時30分から十日町公民館で、定例会を開いていますからぜひおいでください。

楽しい仲間と楽しい山行



登山は毎月行われます

このコーナーは、運動や文化、芸能などを楽しんでいるサークル、クラブなどを紹介するコーナーです。このコーナーで自分たちの頑張っている姿をアピールしてみませんか。  
総務課文書広報係  
(☎57-3111 内線214)

## 中条中学校に 高志が丘の碑を建設

～学校・地域の永遠のシンボルに～

十月二十七日(日)、中条中学校(中野徹也校長)で、「高志が丘の碑」の除幕式と贈呈式が行われました。  
中条中学校には、初代民選知事岡田正平氏が揮毫された「高志が丘」と、堀口大学先生が作詞、直筆された校歌の二つのすばらしい額があります。創立四十五周年を迎えこの二つの書を碑に刻み、同校のシンボルにしたいと「高志が丘の碑」を贈る会(会長福島竹作)が寄付を集めて建設しました。  
式では福島会長が目録を手渡した後、生徒会長の星名光秀君が「大きな誇りになります」と、生徒を代表してお礼の言葉を述べました。

月になると「わら細工教室」があります。地いきのお年よりに来ていただいで、わらぞうりや、わらなわの作り方を教わるのです。  
おしりの下にわらをはき込んで、わらを両手でこするようからめていきます。長くなつたなわは、おしりの後ろへ送ります。わらぞうりは、今ははかなくなつたけれど、むかしは作ってはいいたそうです。

「わら細工教室」では、ぞうりなどの作り方を教わるだけでなく、お年よりといろいろな話をすることも楽しみです。  
それから、お年よりのゲートボール大会もあります。おじいさん、おばあさんたちにはかないませんが、これも楽しい行事です。



わらぞうり、うまく編めるかな



庭野和子さん  
(福島商事株勤務 田川町3・20歳)

高校を卒業して今の会社に入り、2年半がたちました。卒業をしたときは、専門学校に行っていた気持ちがありましたが、十日町を出たいとは思いませんでした。会社では経理の仕事をしています。小さいときからそろばんをしていたせいとか、今の仕事は自分の性に合っていると思います。

休みの日は本を読んだり、友達とドライブを兼ねて買物に行ったりすることが多いですね。長岡は何かを買おうという目的がなくても、店の中に入りやすくていいですね。

あまりスポーツはしていないのですが、今年の冬はスキーがうまくなりたいですね。それからワープロも勉強してみたいと思っています。

二人姉妹の姉はもう結婚してしまったので一応婚取りなのですが、自分の結婚のことはまだ何も考えていません。今はもっと青春を楽しみたいと思っています。

## 青春エンジンジョイ

■連絡先 総務課文書広報係  
明日の十日町を担う若者登場コーナーです。このコーナーに登場する人を募集しています。個人・会社の推せんでもかまいません。

上村光司さん  
(宮本警報器機勤務 土市1・22歳)



長岡高专を卒業して今の会社に勤めました。この会社を選んだのは、子供のころから機械いじりが好きで、高专の時会社見学に来て、自分の好きな仕事をいろいろやらせてもらえそうだからです。会社では生産技術課というところで、自分の会社で使う機械を作る仕事をしています。まだわからないことがたくさんあり、いろいろ勉強しなければなりません。

高专の5年間を長岡で過ごしましたが、車がなくてもどこへでも行ける交通の便の良さが印象に残っています。十日町は車がないところに行けませんね。休みの日はビデオで映画を見たり、パソコンの勉強をしたりしていますが、図書館やほかに楽しめる施設が欲しいですね。それには今計画されている当間高原リゾートが完成すれば、わたしたちも楽しめる施設ができるのではないかと期待しています。

## 思いのふるさと No.20



樋口恭子さん  
(田川町2・27歳)

出身地 京都府京都市

わたしのふるさととは、社寺や祭りなどだれでもが知っている古都京都市です。わたしの家は、京都御所の近くにあり、父は最近まで織機で喪服の帯を織っていました。京都の気候は冬は風が強く底冷えしますが、雪の量は雪化粧程度であり積もることはありません。十日町の昨冬は、雪がいつぱい降りましたが、このくらいはまだ小雪の方だと聞きびっくりしました。生まれて初めて屋根の上の上って雪おろしの経験をしましたが、大変な仕事だと思いました。わたしも夫も京都の同じ織物問屋に勤めていたとき愛が芽ばえ、昨年十一月に結婚して、夫の出身地十日町の人になりました。十日町に来て商店街が早く店を閉めてしまうことと、夜八時ころになると人通りもほとんどなくなり寂しいと思いました。京都はいつもにぎやかです。特に京都三大



祭りとされている五月の葵祭り、七月の祇園祭り、十月の時代祭りには観光客ですごいにぎわいになります。なかでも祇園祭りの山鉦巡行は見応えがあります。こちらは魚沼米の産地で、毎日光沢のあるおいしいご飯を食べられて幸せです。京都の父にも送ってやり喜ばれました。偽魚沼産コシヒカリ事件で一段と有名になったようです。十日町に来て丁度一年。方言も少しは使えるようになり、早く地域に溶け込もうと努めています。





# 大きなあ〜れ

83

(3歳  
2カ月)

宮澤綾実ちゃん  
弘・順子さん長女  
(伊達3)

元気に飛び回ったり、水戸黄門の歌もうたえるけど、ちよつと聊げかしがりやなの。わたしの宝物はね、「きんぎょ注意報」のふで箱なのよ。とっても気に入っているの。

# じょうずになつたネ!

## 中条保育園

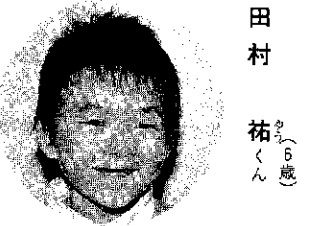
83



保育園でやさいもをしたよ。甘くてすごくおいしかったから、みんながいっぱい食べたんだ。



大好物のにんじんを食べているモルモットの「モルちゃん」。モクモクしてかわいいのよ。



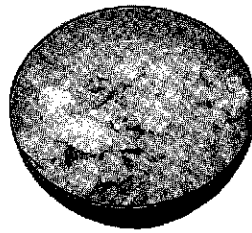
田村 祐くん (6歳)



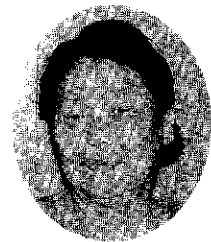
大熊 奈緒ちゃん (5歳)

# わが家味

56



〔材料〕(6人分)  
・キャベツ…中1個・にんじん…中1本・玉ねぎ…大1個・豚肉の薄切り…400g・ニンニク…1片・コーン油…大さじ4・砂糖…大さじ1・うす味しょう油…カップ1/2・水…カップ3・塩、酒、だしの素、みりん…少々



村山まささん  
(山本町2 72歳)  
☎57-2587

豚肉とキャベツのいため煮

「煮汁」がおいしいんです。いつも主人と二人なので静かな食事ですが、子供や孫たちが来るとにぎやかで食事も楽しいですね。こんなとき野菜とお汁たっぷりのこの一品が一番喜ばれますし、寒い日には、おわんからのぬくもり

- ① ほうれい菜を洗って、下ごしらえ。ニンニクは薄切りにし、豚肉は3センチくらいに切る。にんじんは3センチの短冊切り、キャベツはざく切りにし、茎は薄く切る。玉ねぎは縦二つに割り、5センチ幅に切る。
- ② 鍋にコーン油を熱し、ニンニクをさっといためる。香りが出たら豚肉を入れてさらにいため、肉の色が変わったころ、にんじん、キャベツ、玉ねぎ、水を加えて煮る。
- ③ 野菜のかさが減ってきたら、酒、砂糖、だしの素を入れて煮込み、味をなじませる。
- ④ 火を止める前にみりんを加える。

# この昔と今

林 徳司さん

(小泉一・88歳)



おれの一番の思い出は、戦争中の食糧難のときのさつま芋だなあ。四十四・五歳の働き盛りのころ、さつま芋に命をかけ、芋先生と呼ばれていたんその。昭和十七年の年、新潟県の甘薯奨励品評会で二位だったかになつて賞状をもらったんその。おれが一生懸命になつたさつま芋だったな。それと、食糧不足が始まり京都大学の榎博士が文芸春秋に「日本の食糧とさつま芋」という論文を出したのを読んで感銘し、おれに行動のスタートを切らしたんだなあ。博士の論文をいくらか自分のものにしたんだが、ほう

ほうから「話に来てくれ」と言われ、信州へも出かけて行つたの。その時、甘薯奨励委員にまつりあげられたんその。中魚沼で電熱温床の第一号はおれだったんだ。昭和二十年の五月にさつま芋の農林一号の苗が欲しくて、銚子の隣の井岡でどこへ穴沢松五郎という先格者がいて、温床視察を兼ねて行って来たんその。その年の八月に小泉に大根種が無くて、井岡の松林に大根の花が咲いていらんを覚えて取りに行つた時、機銃掃射に遭い、五・六百斤しか離れていなくて、命びろいをしたんが懐かしい思い出だ。おれは多趣味で庭木や盆栽をいじつたり、絵や書を観るのが大好きなんだ。特に浮世絵が好きで東京のデパートや美術館によく行きました。物事をとことん納得するまで承知しない、この信条が人生の支えとなつて、仏教の研究に漢詩の勉強に役立っていらんだ。丈夫な体とおらかな心で今、人生を楽しんでいます。

## 四年度「十日町市職員」追加募集

平成4年4月1日採用予定の市職員を2次募集します。

〔職種・採用予定人員・受験資格〕

■上級・中級土木（建設、水道、下水道、農林等の部門でそれぞれ専門技術の業務に従事）※若干名

▼上級資格：大学の土木系専門課程の卒業（来年3月卒業見込みを含む）した人で、昭和36年4月2日以降に生まれた人

▼中級資格：短大、高等専門学校、専門学校の土木系専門課程を卒業（来年3月卒業見込みを含む）した人で、昭和36年4月2日以降に生まれた人。ただし、大学を卒業した人を除く。

■中級・理学療法士（県立十日町病院で数カ月の訓練後、市の保健センター等で専門技術の業務に従事。採用後も年数回の研修派遣制度があります）※1名……

理学療法士の免許を所有している人（来年三月末日までに取得見込みを含む）で、昭和31年4月2日以降に生まれた人

〔試験期日・試験科目〕  
■第一次試験 12月8日(日)保健センター（上級・中級土木：国語・社会・数学・作文、中級理学療法士：国語・社会・作文）

■第二次試験 12月下旬、市役所および総合体育館（第一次試験合格者に対し面接試験と体力テスト）

〔申し込み方法〕 11月30日(出までに、採用試験申込書と必要書類を総務課人事秘書係（☎内線25）へ提出してください。採用試験申込書は同係にあります。

受付時間は午前8時30分から午後5時（土曜閉庁以外の土曜日は正午）までです。郵送は11月30日の消印まで有効です。

## 正解は『すこやかボーヤ』 米消費拡大 クロスワードパズル 当選者

米消費拡大事業の一つとして行った「クロスワードパズル」に71点の応募がありました。64点の正解の中から抽選により、次の5名の方が当選されました。5名の方には、米、みそなどの賞品が贈られました。

- 田村宏之さん（下条栄町・13歳）
- 柄沢道広さん（谷内丑1・38歳）
- 樋口静江さん（三和町・48歳）
- 蕪木カノさん（田中町本通り・63歳）
- 小杉幸子さん（美雪町1・12歳）

## 2年連続都大路への切符を獲得

～十日町高校男子、県高校駅伝競争大会7回目の優勝～



優勝報告会でレースを振り返る品川監督

〈出場選手の結果〉（敬称略）

- 1区(10%) 柳信太郎(1年) 34分7秒(20位)
- 2区(3%) 小林雅幸(2年) 8分55秒(1位)
- 3区(6.167%) 富井貴浩(3年) 26分26秒(4位)
- 4区(6.057%) 富井 徹(1年) 26分21秒(1位)
- 5区(3%) 上村伸二(3年) 9分32秒(1位)
- 6区(5%) 山岸祐二(2年) 13分24秒(1位)
- 7区(5%) 保坂祐介(1年) 15分39秒(1位)

11月6日(火)、全国高校駅伝競争大会県予選会が新発田市五十公野公園陸上競技場を発着点に行われ、十高男子は1区の出遅れをばん回し、みごと7回目の優勝を飾りました。また実業高校も準優勝と大健闘し、陸上王国十日町の名を県内にとどろかせました。

レースは、花の1区に出場した柳

が風邪で体調をくずし20位で2区小林にタスキをリレー。小林は区間タイの快走で12位に浮上。3・4区はキャプテンと1年の両富井が力走し3位と優勝圏内に順位を上げ、5区上村が冷静な走りで2位に。6区山岸は安定した走りでトップで7区へ。アンカー保坂はプレッシャーにも負けず1分8秒の差でゴールしました。



## スライターの「ピン抜き」を貸出し

スパイクタイヤによる粉じんが社会問題となり、昨年六月法律が制定され、今年の四月からスパイクタイヤが使用禁止となりました。降雪を前にして、脱スパイクタイヤの準備をされる方に「ピン抜き」を貸出いたします。借用希望の方は次へ連絡してください。

■連絡先 保健衛生課環境衛生係（☎内線12）へ。

## 榕堂会を設立

入会者を募集  
一口3,000円

中条地区振興会(樋口熊蔵会長)と十日町青年会議所(村山政文理事長)が発起人となり、郷土が生んだ儒医商道の仁医尾台榕堂先生の御遺徳を顕彰するため「榕堂会」を設立いたします。設立後は調査研究、資料の保存、印刷物の発行などを行い、青少年への教育や地域の誇りづくりに役立てる予定です。一口3,000円(前口でもかまいません)で、賛同される方の入会を募集しています。

## 設立総会と祝賀会

- とき 11月24日(日)午後1時～1時
- ところ ラボート十日町
- 設立総会
- ①事業報告 (十日町青年会議所「尾台榕堂とまちづくり」)
- ②記念講演 講師…藤平健氏(医学博士) 演題…「現代に評価される尾台榕堂の業績」
- ③劇 (中条中学校) 「仁医 尾台榕堂 師家再興に旅立つ」

- 祝賀会 (会費4,000円)
- 問い合わせ 榕堂会発起人会事務局 中林弘(中央歯科医院内 ☎52-2797)へ。

くみ取りの申し込みはお早めに

降雪前はトイレのくみ取りが大変混みます。申し込み順に計画収集をしますので、早めに申し込んでください。

◆清掃業者  
(有)するがや清掃・津南清掃社  
(有)下条清掃社・(有)川西クリーン

## 第8回 民謡大競演会

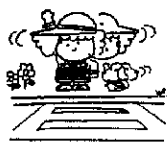
今年の特別企画は「津軽の響き、完結編」と題し、越後替女の道中記が歌と踊りを交えて行われます。

- とき 12月1日(日)午前9時～午後4時30分
- ところ クロス10大ホール
- 入場料 前売り…1,300円、当日売り…1,500円
- 販売所 宮沢民謡協会長(☎5813089) 庭野舞踊協会長(☎5718151)
- 問い合わせ 十日町市観光協会(☎内線334)へ。

## 11月 交通安全キャンペーン

歩行者や自転車乗りも交通ルールを守りましょう。

歩行者が道路を横断する時は左右の安全を、自転車の人は一時停止をして安全を確かめる習慣を身につけましょう。



10月中の交通事故発生状況 ( )は累計

市 町 村	発生件数	負傷者数	死者数	
十日町市	平成3年	33(175)	39(199)	1(3)
	平成2年	30(168)	37(212)	0(4)
川西町	平成3年	11(93)	11(110)	0(1)
	平成2年	11(78)	11(85)	1(3)
計	平成3年	44(268)	50(309)	1(4)
	平成2年	41(246)	48(297)	1(7)



### 交差点で死亡事故

10月26日(土)午後4時ころ、新宮の信号機のないT字交差点で78歳の男性運転のバイクと44歳男性が運転する大型ダンプカーが出会い頭に衝突し、バイクを運転していた男性が脳挫傷などで意識不明の重体となり、27日未明死亡しました。交差点では、ままりを正しく守り安全確認をしっかりとし、無理をしないようにしましょう。

## 公営住宅入居者募集

- 黒沢市営住宅(簡易耐火造、2階建)
  - ▶募集=1戸(5畳、3畳、DK)
  - ▶家賃=7,500円
- 申し込み 11月22日(金)までに建設課建築住宅係(☎内線266)へ。

## 酒害の懇談会

- つい酒を飲み過ぎる方、または、そのご家族の方の会です。お気軽に参加ください。
- とき 11月15日(金)午後1時30分～3時
  - ところ 十日町保健所(塚原町)
  - 申し込み 十日町保健所(☎57-2400) または、保健衛生課保健衛生係(☎内線138)へ予約してください。

## 心の健康相談

- ノイローゼ気味で眠れないなど、悩みをお持ちの人はお気軽にご相談ください。
- とき 11月22日(金)午後1時30分～3時
  - ところ 十日町保健所
  - 担当 柳沼医師(五日町病院)
  - 申し込み 十日町保健所または、保健衛生課保健衛生係へ。

## 第43回雪まつりポスター募集

規格 ①大きさ:B2版(縦59×横36) ②内容:雪まつり

デザイン・マイノリティ展 クロス10では、きものの原点である「デザイン画」や「染織作品」を展示し、地場産業の振興と後継者育成を図るための「デザインマ

■賞金 採用1点:3万円、テクノスベアウォッチ 佳作若干:記念品

■提出・問い合わせ 11月29日(金)までに商工観光課内雪まつり事務局(☎内線334)へ。

## クロス10パート募集

- 職種 物産販売、手描友禅実演
- 募集人員 女性若十名
- 年齢 45歳位まで。
- 申し込み 履歴書をクロス10に(本町6 1 ☎57-2323)
- 持参してください。

## 200ポツツキンク教室

- とき 11月26日(火)・29日(金の)2回コース 午前10時30分～午後1時まで。
- ところ 東北電力榑十日町営業所3階クッキングルーム
- 内容 電気調理機器を使った料理実習。
- 参加費 一回500円
- 定員 15名(先着順)
- 申し込み 11月20日(木)までに東北電力榑十日町営業所お客さまサービス課(☎52-3107)内線332)へ。

## 家族介護者教室

- とき 11月30日(土)午前10時～午後1時45分
- ところ 下条地区公民館
- 内容 「老人の食事と栄養」

## 新潟県身障者更生指導所入所者募集

- 乳製品を取り入れた老人食の調理実習 講師:楳沢文字栄養士
- 受講料 500円
  - 定員 20名で締め切り。
  - 申し込み 11月25日(月)までに三好園デイ・サービスセンター(☎56-2106)へ。
- 入所資格 身体障害者手帳を持つ肢体不自由者で介護を必要としない15歳以上の人
- 募集人員 若干名
  - 入所時期 随時入所できます。
  - 訓練科目 ①印刷科(タイプ・ワープロ、写真植字) ②縫製科(洋裁・編物) ③自動車操作訓練科(教習所へ委託)
  - 入所期間 原則として1年間
  - 問い合わせ 社会福祉事務所援護係(☎内線132・133)へ。

## 駅通り商店街がいに会

11月17日(日)11:00～14:00

商店街活性化事業に駅通り商店街振興組合が指定を受け、事業の一つとして説明会と、いもに会を十日町駅脇で行います。ぜひご参加を。

# ふるりの歴史散歩 history

市史編さん室 その56

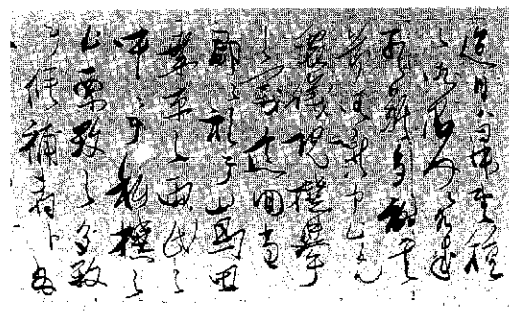
## 衆院選の候補者選び

明治時代の衆議院議員選挙にあたって、地区内で推選候補者をだれにしようかと、いろいろの下工作が進められた資料が、このほど市内吉田地区で見えられた。

当時の選挙は、本籍地に三年以上続けて住み、地租五円以上を納めているもの選挙権が与えられ、被選挙権者は地租十円以上の納入者であることが規定されていた。

だから、公選とはいふものに限られた有力者層だけに許された選挙であった。

発見された資料は書簡で、その一通は川治の松沢氏から鑑坂の小山氏あてに送られたもので、「今回の衆議院選挙では、島田と桑原の二人が候補者として取りざたされているが、個人々々の気持に任せておくと推選がばらばらになって、地区の意向が



「推選の過程を知らせる書状」

弱くなってしまう。関係者で下選挙を行って推選を一人にしほって欲しい」と要望している。

また他の一通では、下相談の動きが具体的に述べられ、地区内の反応がなかなかまとまらない様子が見え、

酔っぱらって出席したので眠りこんでしまい、打ち合わせの内容が分からぬままに会合が終了。結果だけを聞かせてもらい、あちこちと願って歩いたが、反対の者もあってなかなか骨が折れる。あらためて、一部の私たちと再評議の予定——などがある。

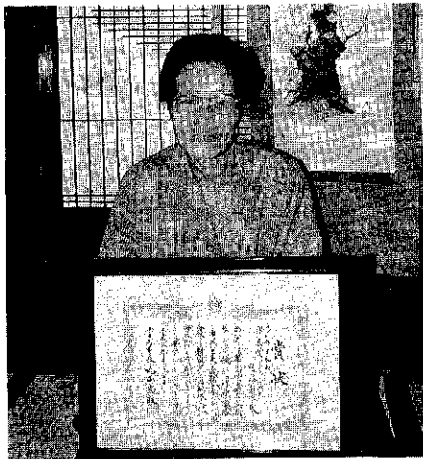
島田は津南町宮野原の島田茂氏、桑原は同町秋成の桑原重正氏、桑原候補が当選して栄える代議士となった。

## 日本画部門で二回目の市展賞受賞

第二十四回市美術展日本画の部で近藤さんは、八十歳の高齢ながら見事市展賞に輝きました。昭和六十年からこれまでに五回を出展し、今回の受賞を含め市展賞二回、奨励賞三回と全て入賞というすばらしい成績を残してきました。受賞作は「ふるさとの四季」。八十歳の記念と三回

忌を迎える夫の供養にと、天国の夫に語りかけながら七カ月余りの時間を費やした百号の大作。近藤さんは、昭和五十三年からケガと病気の連続で九死に一生を得てきました。絵をかき始めたのも肺炎で入院していた昭和五十六年から。小さいころから動物や花が大好き。そして、

# ひん<sup>20</sup>



近藤 静枝さん  
(上新田 | 80歳)

夫も花や果実をこよなく愛していたことから花が題材となりました。今回の作品には、百三十三本もの花が描かれています。

「絵の知識も想像力もない私を受賞できたのは、私を助け心配してくれた夫と、温かい心で見守ってくれた家族の愛に支えられてきたおかげです」と話す近藤さん。それぞれの受賞作は金婚式、夫の他界、三回忌など

すべて苦楽を共にした夫への思いが込められています。絵のほかに日記がわりに思い出を記したためた「徒然草」を書き続ける文才家でもあります。

「絵をかくのは寂しさからの救い、生きているうちは何かに執着し続けたい」と話す近藤さんは、花や人を愛するやさしい心と情の深さで、夫への思い出を絵に歌に打ち込んでいます。

## とおかまちの自然

(理科センター)

ハエトリシメジ 56



秋、コナラ・クヌギなどの広葉樹林やマツとの混生林内の地上に発生するキシメジ科のキノコです。傘は4〜6センチ、円錐形から平らに開きます。中央が常に突出するのが、このキノコの特徴です。古くからテングタケと同様にハエ捕りに用いられてきました。

大変おいしいキノコですが、多く食用すると悪酔いを起こすと言われています。

## 編集後記

母が町へ引越して一番うれしかったのは、水を存分に使えることだと言いました。鉢にいたところは山のわき水を利用していたため、何回となく出なくなり、洗濯や風呂に困ったものでした。水のありがたさを痛感した一人です。

この豊富な水も水源を地下水に頼る中で、信濃川の減水やいたる所の舗装など、水のかん養が少なくなってきた今、水を大切にすることを心がけていきたいものです。 56